

ISOメルマガ(140303)

ISO9001・ISO14001の改正状況(18) 箇条7(その1)

今回は箇条7(その1)について概要を紹介しましょう。

これまでのメルマガで紹介のとおり、ISO9001及びISO14001ともに、MSS(マネジメントシステム規格)の共通要求事項を採用して改訂作業が進められています。

MSS共通要求事項の箇条7の7.1～7.4は次の通りです(XXXは品質又は環境)。

7. 支援

7.1 資源

組織は、XXXマネジメントシステムの確立、実施、維持及び継続的改善に必要な資源を決定し、提供しなければならない。

7.2 力量

組織は、次の事項を行わなければならない。

- 組織の XXX パフォーマンスに影響を与える業務をその管理下で行なう人(又は人々)に必要な力量を決定する。
- 適切な教育、訓練又は経験に基づいて、それらの人々が力量を備えていることを確実にする。
- 該当する場合には、必ず、必要な力量を身につけるための処置をとり、とった処置の有効性を評価する。
- 力量の証拠として、適切な文書化した情報を保持する。

注記 適用される処置には、例えば、現在雇用している人々に対する、訓練の提供、指導の実施、配置転換の実施などがあり、力量を備えた人々の雇用、そうした人々との契約締結などもある。

7.3 認識

組織の管理下で働く人々は、次の事項に関して認識をもたなければならない。

- XXX方針
- XXXパフォーマンスの向上によって得られる便益を含む、XXXマネジメントシステムの有効性に対する自らの貢献。
- XXXマネジメントシステム要求事項に適合しないことの意味。

7.4 コミュニケーション

組織は、次の事項を含め、XXXマネジメントシステムに関連する内部及び外部のコミュニケーションを実施する必要性を決定しなければならない。

- コミュニケーションの内容(何を伝達するか。)
- コミュニケーションの実施時期
- コミュニケーションの対象者

ISO9001及びISO14001のそれぞれのCDの段階で、このMSS共通要求事項に、ISO9001及びISO14001固有の追加要求事項が追加されています。

(1) 箇条 7.1: 資源

ISO9001 においては、2008 年版の 6.3、6.4 及び 7.6 がここに追加されています。

- ・7.1.2 インフラストラクチャー
- ・7.1.3 プロセス環境
- ・7.1.4 監視機器及び測定機器
- ・7.1.5 知識

この「7.1.5 知識」に関しては新規な概念として導入されていますが、組織が、ニーズ及び傾向の変化に取り組む際に、現在の知識ベースを考慮に入れ、必要な追加の知識を入手する方法又はそれらにアクセスする方法を決定することを求めています。

一方、ISO14001 は、MSS 共通要求事項以上の追加の要求はありません。

(2) 箇条 7.2: 力量

ISO9001 の 2008 年版の 6.2 から、また ISO14001 においても 2004 年版の 4.4.2 から大きな変更はありませんが、対象となる人の表現が「組織の XXX パフォーマンスに影響を与える業務をその管理下で行う人（又は人々）」となり、「パフォーマンス重視」の意思が表されています。

(3) 箇条 7.3: 認識

ここでも、「XXX パフォーマンスの向上によって得られる便益」となっており、「パフォーマンス重視」の意思が表されています。

(4) 箇条 7.4: コミュニケーション

MSS 共通要求事項として内部及び外部のコミュニケーションに対し、その内容、実施時期、対象者まで明確にすることを求めています。

ISO9001 では、MSS 共通要求事項以上の追加の要求はありませんが、ISO14001 では、2004 年版の 4.4.3 を「7.4.2 内部コミュニケーション」と「7.4.3 外部コミュニケーション及び報告」に分けてより具体的な要求となっています。

以上

参考: ISO9001 及び ISO14001 の次期改正についてのこれまでのメルマガの記事は次に掲載されています。

・http://kanagawa-touroku.org/p/9000/?page_id=880